

フォーラムニュース Vol.12 2020 3/15

発行：フォーラム・子どもたちの未来のために実行委員会

<http://www.f-kodomotachinomirai.com/>

文責／大竹永介

【お詫びとお知らせ】

3・25 前川氏講演会は中止となりました

かねてお知らせしていました 今月 25 日の前川喜平氏による特別講演会「子ども



たちが危ない！～日本の教育はどこに向かっているのか～」は、今般の新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、残念ながら中止とさせていただきます。

きわめて今日的な重要なテーマだけに、実行委員会としてもなんとか開催できないものかと議論を重ねましたが、いっこうに収束の気配を見せない現状では、参加者の皆さん、また、講師の前川氏の健康を守るためにも、中止やむなしとの結論に至りました。皆様には、事情ご賢察のうえ、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、この企画は、実行委員会としては是非とも実現したいものであり、収束時期の見えない現段階ではいったん「中止」という形をとりますが、しかるべき時期に必ずや開催するつもりでおります。その際には、またあらためてホームページや当ニュースにおいてお知らせいたしますので、ひきつづきどうぞよろしくお願いいたします。

「フォーラム・子どもたちの未来のために」実行委員会

★前号でお伝えしました 2 月 1 日のシンポジウム「私たちの時代 私たちの表現」は大きな反響を呼び、たくさんの感想が寄せられました。その一部をご紹介します。

●子どもたちの未来を考えている大人がこんなに大勢いるのに政治が変わらないのは何故でしょうか。小さな会をもっと広い範囲で行えるといいと思います。（大橋道代）[□]

●「つらいもの、かなしいものこそエンタテインメントの手法で書く。読んでもらえなければ意味がないから」という言葉にハッとしました。何が書かれているかということのほかに、読んでもらえるかどうかという視点を加えて選書をし、子供の手の中に届ける仕事をしていきたい。（小濱華子）

●弱者のための物語という言葉にも思うものがあつた。哀しみを受け入れる為に、そして他者が共有するために芸術は作られるものであると思う。

(鈴川直子)

●売りたい本と売れる本があまりに違いすぎると日々感じています。書店はどうあるべきかを考えていきたいです (H.N)

●多くの児童文学作家のコメントもきくことができ、有意義だった (匿名希望)

★JBBY ってなあに？

「フォーラム・子どもたちの未来のために」の構成団体の一つ、JBBY って何？ というご質問を受けました。事務局長の鳥塚さんにお答えさせていただきます。

● JBBY (Japanese Board on Books for Young People / 日本国際児童図書評議会) は、IBBY (International Board on Books for Young People / 国際児童図書評議会 1953 年設立) の日本支部として 1974 年に創設されました。子どもたちが生きやすい平和な未来を築くため、子どもの本を通してさまざまな国や地域との相互理解を深めようという国際ネットワークです。以来、JBBY は、日本と世界の間には橋を架ける活動を行っています。主な活動としては、国際アンデルセン賞や IBBY オナーリストなど、子どもの本の国際的な賞に日本の作家や画家、作品を推薦したり、英文のブックリストを作って、日本の子どもの本の情報を海外へ発信したりしています。日本から海外へ紹介した作家や画家へは JBBY 賞を贈賞しています。また国内では、図書展や講座・講演会を開催して、日本を含む世界の優れた児童書の情報を提供しています。現在の会長は翻訳家のさくまゆみこさんです。詳しいお問い合わせは、JBBY 事務局まで。TEL : 03-6273-7703 MAIL. info@jbbby.org WEB. www.jbbby.org/

●フォーラムニュースの 12 号をお届けいたします。まずはこの 25 日に予定していましたが前川喜平氏の講演会の中止という大変残念なお知らせです。既にお申し込み頂いている皆様、楽しみにしていらした皆様には本当に申し訳ありませんが、新型コロナウイルスの猛威の前にはやむを得ない苦渋の決断でした。

ご理解のほどお願い致します。●確かにこの「見えない敵」との闘いは「国難」にはちがひありませんが、一方で過剰な自粛と同調圧力による「全体主義」への危険性にも注意しなくてはなりません。「緊急事態宣言」を可能にする「特措法改正案」も成立しました。こういう時だからこそ「拳国一致」という名のもとに道を誤った過去の歴史に学ぶ必要があるのではないのでしょうか。

●フォーラムニュースでは皆様からの質問、ご意見、ご要望をお待ちしています。f.kodomo.mirai@gmail.com まで。よろしくお願ひいたします。(0)